



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

 CREATE HOPE in the WORLD
 世界に希望を生み出そう

 培おうプライド、育もうブランド、
 そして未来へ!!

 輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
 ~我がクラブの志と共に~

第29回(通算1643回)例会報告	令和6年3月1日(金)	広報担当例会
ゲスト	豊橋RC 小林大悟氏	
出席報告	総会員数58名(計算会員数52名) 欠席9名 出席率82.69% 前々回修正出席率86.54%	
歌/会場	国歌・奉仕の理想	会場:ロワジュールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間

山本雅久会長



第29回の例会を行います。
 今週の水曜日に桜丘高等学校の卒業式に豊橋ゴールデンロータリークラブの会長として参加してまいりました。初孫の卒業式もお祝いできお慶びも倍増でした。卒業生全員の合唱は感無量の卒業式でした。ボランティア活動の生徒、指導教員の先生にお祝いをお伝えできました。
 次に、国際奉仕活動委員会におけるベトナムへの奉仕活動の方々のお名前を発表します。国際奉仕委員長鈴木紳昭、幹事高井龍雄、会長エレクト本多英司、国際奉仕副委員長保永真生、会計今川明彦の5名が外国での奉仕活動に専念します。どうか皆様のご理解とご協力の上、この5人を力付けてください。よろしく願い申し上げます。

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



宇藤 信会員

宮川直樹会員

入会記念日祝い

加藤ゆり子会員



次年度地区出向者



地区職業奉仕委員長

地区 RYLA 副委員長

地区 RFF 実行委員

牧 岳大会員

ファシリテーター

鬼頭秀幸会員

会員スピーチ

「私が今まで育んできたこと」
 「私が現在育んでいること」
 「私がこれから育んでいきたいこと」



青木一臣会員

『私が現在まで育んできた事、これから育んでいきたい事』をテーマとしてお話しさせていただきたいと思えます。今回のテーマに沿って、私自身の人生を振り返ったときに、過去の経験の中から1番私自身に大きな影響を及ぼしている育んできた事は何だったのかと振り返ったときに1番初めに思い浮かんだものが、学生生活での部活動でした。高校、大学と続けていたラグビーでは、私の人生において強烈な刺激を与えてくれました。ワンフォーオールオールフォーワン、1人はみんなのために、みんなは1人のために。まさにこの精神がラグビーにおいては、最も重要で、チームが勝利



するためには、自分が犠牲になり、ボールとチームメイトを前に進ませる。また、目の前でチームメイトが犠牲になった後ろでボールを持ち、チームの勝利のために前に突き進む。この繰り返しラグビーと言うスポーツになります。そんな厳しいコンタクトスポーツですから、練習はとてつもなく厳しく、体重 50 キロ台から上は 150 キロ台までいる中、ラグビーは、格闘技のように階級などで区別されていないので、格闘技で例えるとバンタム級の軽量選手 那須川天心がヘビー級の重量選手ボブサップから大当たりを受けるような練習が毎日繰り返されます。また、反対に階級区別されることなく、身軽な選手と同様、重量級の選手も平等に無限に走らされます。どちらにおいても途中で弱音を吐いたり、練習メニューが継続できなかった場合は、連帯責任でさらなるきついメニューへと、チーム一丸となって乗り越えます。昨年 OB として、高校のラグビー部の練習に参加させていただいた際には、監督から当時の練習メニューを今の現役の選手に行ったら、俺は虐待で捕まってしまうよと言うようなメニューを当時はこなしていたようです。そのような経験を得て、今でも 1 番の財産となった格言が、ワンフォーオール・オールフォアワンを略して『他が為』という言葉です。自分 1 人のためではなく、周りの皆のために。利己的ではなく利他的に。これを実行できることによって一見、遠回りにも見えますが、成功する上では 1 番の近道であると言うことを学びました。スポーツだけでなく、社会人になり、金融機関の経験を得て、この内容は実社会で確実にリンクいたしました。団体スポーツで言えば、勝利につながるか。ビジネスで言えば利益が確保できるか。自己中心的なプレイで、周りのチームを差し置いてしまえば、チームとしては機能しません。ワンマン経営で我が為の経営を行えば、後ろを振り返れば、誰もついてきていない。結果チームの勝利、並びに会社の利益の確保もできないと言う悪循環。周りの助けがあるから、今の自分がいると言う、謙虚で誠実な気持ちを常に持つことで、自分を含めた世の中がうまく回っていくのではと心の底から感じる事ができました。それは私が今まで育んできたスポーツを通して学んできたことからスタートし、これからさらに育んでいこうと思う。会社のスタッフを取り巻く会社の方針や今後の展開など、原点には『他が為』と言う気持ちを忘れずに育んで行動し続ける事が出来ればと考えております。現実この厳しい世の中で、毎日揉まれ、この大切な原点を忘れそうになってしまったときにロータリーの例会で、4 つのテストの唱和が行われる際、『4 つ、みんなのためになるかどうか』これを唱和した際に毎回心が洗われ、私自身、大切にしている行動基準を思い出すことができます。偉大な先輩方がいらっしゃるこのロータリーという素晴らしい環境で、更に私自身の成長と奉仕の心を学ばさせていただき、自己成長できればと思っております。まだまだ未熟な私ですが、今後ともよろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。



鈴木雅人会員

改めまして、鈴木雅人と言います。入会は青木君と同じで、まだ 1 年と 7 ヶ月でして、まだまだロータリーの事をよく分かっておりませんが、どうかよろしくお願いします。会員スピーチのテーマが育んできた事、育んでいる事という事でして、

私の会社では公共土木工事をしておりますが、10 年程前から Facebook で会社や現場での情報発信を始めています。当時の SNS は、まだブログが主流で、企業の広報としては手法も確立されておらず、まして公共工事では現場を公開する事がまだタブー視されていたのですが、採用に苦慮する中で何かの切っ掛けとなればと思っ取組み始めました。いまではどの企業も SNS は当たり前で新しい広報を新たに作ろうとしている時代となっております、今日は、自分たちの業界で行っています広報の紹介をさせて頂いて、機会がありましたら皆さんからご紹介いただければとの期待をしてスピーチをさせて頂きたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いします。

公益社団法人土木学会が行っております「土木広報大賞 2023」という表彰式が先日あったのですが、これは日本全国の各地域で展開されている様々な広報のうち、暮らしを支えている土木の役割・意義・魅力について広報を行っている活動または作品などで他団体の模範となるもの、他団体への展開が期待されるものなどを取り上げて表彰するというもので、当社も所属しています中部建設青年会議愛知支部が行いました「高校生×土木」フォトコンテスト 2022 を、優秀部門賞「広報ツール・アイテム部門」として表彰して頂きました。

このフォトコンテストは 3 年目となるのですが、愛知県内の写真部のある高校全てに声をかけさせて頂いて、高校生に工事現場へ来てもらって写真撮影を行って、工事現場のフォトコンテストを開催するものです。愛知県高等学校文化連盟写真専門部というのがありまして、そこに登録されています高校が 78 校ありまして、そのうち 30 校が参加をしてくれました。当社は豊橋中央高校が担当となっておりまして、3 年間参加をして頂きました。

(PDF 紹介)

じつは、私たちの業界の課題の一つに、母親の工事現場への理解不足というのがあります。土木科を卒業する学生の採用で先生達と話をしていると、仕事を選ぶ際に母親から土木業界への入職を反対、心配されている学生が多いと聞いています。それ以外にもありますが、自分の会社だけでは今の人手不足は改善されない、業界の事を一人でも多くの人に知ってもらいたい、悪いイメージを払拭しないと、将来のインフラ維持が難しくなる、そんな思いを業界全体で共有して、多くの広報活動に取り組んでいます。皆さんにも、私たちのそんな思いを知って頂いて、機会があれば結構ですので、一人でも広めて頂き、知り合いの方が土木業界に入職する際には背中を押して頂ける様お願いしまして、スピーチとさせて頂きます。ありがとうございました。

広報担当例会

「ロータリーの公共イメージ向上のため何をすべきか」



松島弘和広報委員長

本日は広報委員会の担当例会です。豊橋ロータリーより小林大悟さんをお招きして公共イメージ向上について卓話を頂きます。

ご自身の経験から今何をしたらいいかをお話ししていただき今後の活動に活かしていただけたらと思います。よろしくお願いします。



豊橋 RC 小林大悟氏



2014年1月 豊橋ロータリークラブ入会
2015年～2016年 クラブ会員委員長
2017年～2018年 青少年奉仕委員長
2018年～2019年 公共イメージ向上委員長
2020年～2021年 職業奉仕委員長
2021年～2022年 国際奉仕委員長

3. これだけは知っておきたい「ロータリーの基礎」

個々のロータリアンの責務 (Responsibility of the Individual Rotarian,ロータリー事典9.040.01)

各々ロータリアンは、ロータリーの目的、プログラム、活動に十分精通し、その交友および職業上の知己を通じてロータリーの意図と業績を推進する機会を求めるものと期待されています。

ロータリアンは、ロータリー発展と奉仕活動を改善・拡張するために、ロータリーとは何か、ロータリーが何をしているのかについて、自ら他の人に知らせ、地域社会におけるクラブ存在感を一層際立たせる力となるように要請されています。

ロータリアンの責務 (Responsibility of the Rotary Club)

各クラブは次のことを期待されています (ロータリー事典 9.040.050)

- 1)報道関係との建設的な関係を維持する。
2)成功を取めた奉仕プロジェクトや活動でロータリーの意図と業績明らかに示すものを報道機関を通じて広報する。
3)ロータリーの意図と業績を地域社会内に広めるため、RIが作成したテレビ放送・ラジオ放送・印刷物・インターネット・看板などの公共奉仕広告・推進用パンフレットおよびその他の推進方法や推進技術など、RIの広報リソースを利用する。
4)ロータリーの意図と業績を家族、友人、知人に知らせるようにロータリアンに勧める。
5)ロータリーとその使命、規模、プログラム活動を認識して欲しい。非政府組織、地域社会の指導者、青少年、その他の関係団体の理解を助長する。
6)ロータリーの価値を損ねない。その効果を制約しか得ない地域社会内もしくはクラブ内の状態を防止、是正するために積極的措置を講じる。
7)報道関係者をできる限り会員に迎える。

クラブ・プロジェクトおよび活動の広報

(Responsibility of the Individual Rotarian,ロータリー事典9.040.2)

クラブは、ロータリーの意図と業績を明らかに示すような成功を取めた奉仕プロジェクトや活動を広報するよう努めるものと期待されています。過去の経験から、以下のようなロータリーの活動が広報において最も重要であることが示されています。

- 1)卓越したボランティア
2)先進国と開発途上国の人々との交流
3)地元地域で実施されているロータリーもしくはロータリー財団のプロジェクト
4)ロータリー財団のプロジェクトの参加
5)ロータリーの奉仕から恩恵を受けている人々に関する人道的な話題
6)ポリオプラス活動：特にポリオ感染地域における活動
(2004年11月理事会会合決定59号)

しかしながら、知らない団体は信用されにくく、知らない団体の活動に人々は興味を持ちにくい。

まずは、知ってもらうことが信用の第一歩となる。

そこで、マスメディアを用いて活動内容を発信していく。

但し、急激に認知度が上がるような派手な宣伝が必ずしも公共イメージの向上に繋がるとは限らない。

認知度の向上=公共イメージ向上ではない。

公共イメージ向上するメリット

- 1)活動するにあたり、地域社会や行政の協力を得やすくなる。
2)自分自身、ロータリーのメンバーであることに誇りを持つことが出来る。
3)ロータリーに入りたいという人が増える。

公共イメージの向上は、広く一般の方々に対してロータリーの活動を知って頂く事をもたらすが、活動内容や魅力を知って頂くことで入会希望者を増やすところに、より直截的な意味があるものといえる。

ロータリーの活動には、

- ・貧困の救済、ポリオの撲滅等、人類全体の課題解決への取り組み
・温暖化など地球環境の維持への取り組みがある。

実際のところ、一線で働く職業人が仕事を投げ打ってポリオワクチンの接種のためにパキスタンやアフガニスタンに長期間赴くことは困難。

医師等に任せざるを得ない。

ポリオ撲滅などの人類の歴史にインパクトを与えるような大きな貢献をするためには、全員からの寄付が不可欠。ひとりひとりの会員の力は僅かでも、集まることで大きなインパクトを与える力になりうる。

会員数を増やすことが、エネルギーになる。

4つのテストを自問し、実施することで、自分自身の職業倫理を高める。

様々な業種の方々と話を聴くことで知見を広める。

心を開くことが出来る友人に恵まれる。

5. 森泰樹パストガバナーの言葉

森泰樹パストガバナーの寄稿文

『ロータリーは「ゆとり」であり「遊び」である。』

自動車を運転するとき、ハンドルには必ず「遊び」が作ってある。右に切っても、左に切っても前車輪は直ちにその通りには効かない。ハンドルの「遊び」が車の安全な運転に役立っているのである。

4. 公共イメージ向上の目的

ロータリークラブは、従来、隠匿を積むことを美德とし、活動内容を世間一般にアピールすることに積極的ではなかった。

慈善活動は、困っている人に手を手を差し伸べるために行うものであって、人々に称賛して貰うために行うものではないという価値観に基づく。



洋服を仕立てるときにも、体にぴったり合わせて作られたなら、これこそ身動きも出来ないであろう。
洋服の「ゆとり」が体や手足の自由な動きを確保しているのである。

問題を心の事に移そう。

今日は、何にしても過当競争の時代である。眼の色をかえ、眉を逆立てて、経営に当たって瞬時の油断も許されない。勿論、この資本主義社会において貨幣が第一的信頼を持つことに異議をはさむものではない。

さて、果たして金が全てであるだろうか。

「紙切れの千万金と値踏み、命をかける人の愚かさ」
菊池寛の作である。

この方は、幾多の多作も残し、集金力にも偉大な能力を発揮した人であるが、聡明な彼は既に金儲けの「空しさ」を十分知っていたのである。

この「余裕」、この「遊び」があれば、たとえ事業が不振になったからといって、すぐに逐電したり、命を棄てたりしなくてもすむのである。

ロータリーの皆さんは、毎日日々の仕事に没頭されて心の休まる暇もない。

ところで週1度商売を全く離れてロータリーの例会に出席する。

そこには何等の競争もなければ確執もない。

あるのは只、温かい友情だけである。

ここで隣の人と向かいの人と心と心を開き合い、肩を叩いて話し合う。

なんと楽しい会合ではないでしょうか。

私は人生に於けるこの「遊び」がロータリーであり、ストレスを解消し、やがては健康にも繋がる秘訣ではないかと思うのです。

例会を大いに楽しもうではありませんか。

6. 私の結論

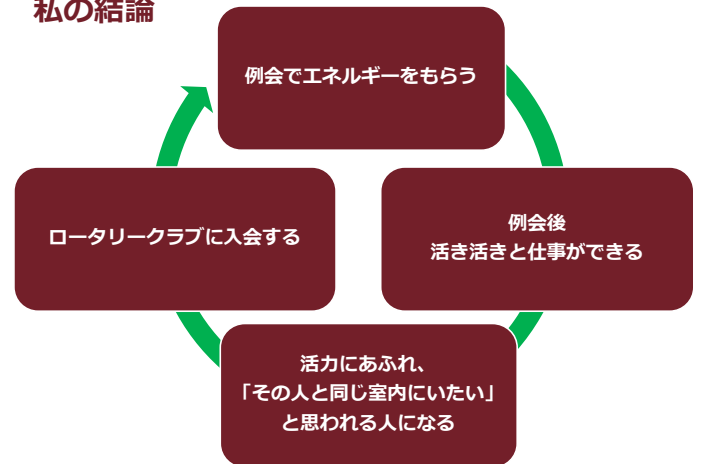
個々のロータリーのメンバーが魅力的でないと、その人と語り合いたくないと思わない。

ひいては、ロータリークラブに入ろうとは思わない。

メンバー1人1人が生き生きしていることが、人が寄ってくる原動力になる。

1人1人がエネルギーを充填することができる場所がロータリーの例会である。

私の結論



この正のスパイラルが大きな渦となり、ひいてはロータリー全体の公共イメージ向上に繋がる

**例会に出席することが
ロータリーの公共イメージ向上に繋がる**



★ニコボックス

小林大悟様 (豊橋 RC) : 公共イメージ向上に関する卓話をさせて頂き。よろしくお願ひ。

山本雅久・高井龍雄 : 広報担当例会、松島委員長よろしくお願ひ。小林大悟さんよろしくお願ひ。

松島弘和・高井龍雄・
鬼頭秀幸・加藤ゆり子・
浅井大介・今川明彦・
伊藤角栄・村松 光

小久保拓吏 : 小林大悟くんようこそ！

青木一臣 : 四つのテストの唱和をさせて頂き。

宇藤 信・宮川直樹 : 誕生日をお祝ひ頂き。

加藤ゆり子 : 入会記念日をお祝ひ頂き。

青木一臣・鈴木雅人 : 会員スピーチをさせて頂き。

松島弘和 : 本日は広報担当例会です。よろしくお願ひ。

飯野益通 : 創立 35 周年記録誌の原稿のお願ひをさせて頂き。

梅田英樹 : ご心配をかけています。元気です。

中村信祐 : この度東京に転勤となってしまいました。3 月一杯しっかり参加させて頂きます。3 年間と短い期間でしたがありがとうございます。

太田和彦 : ニコボックスを発表させて頂き。

太田和彦ニコボックス委員長

★幹事報告

・豊川 RC より創立 65 周年記念式典お礼状、渥美 RC よりメールアドレス変更のお知らせ、第 22 回 RI 台湾囲碁大会のご案内、豊橋 RAC 例会のご案内が届いております。

★他クラブの例会変更

■3月13日(水) 渥美 RC 桜まつり後片付け
豊川 RC 東三河分区 IM